

# 危険物取扱者模擬試験

## 乙種第 4 類 (免除なし)

### 注意事項

1. 解答用紙への記号の記入にあたっては、硬度 B または HB の黒鉛筆、シャープペンシルを使用すること。
2. 誤って記入したときは、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
3. 解答欄には、各問につき一つのみ記入すること。
4. 解答用紙は必ず採点し、弱点補充に努めること。
5. 本試験も、マークシート形式であるので、心づもりしておくこと。

## [ 1 ] 危険物に関する法令

問 1 法令上、次の文の（ ）内に当てはまる語句で、正しいものはどれか。

「特殊引火物とは、ジエチルエーテル、二硫化炭素その他 1 気圧において、  
発火点が 100℃以下のもまたは（ ）のものをいう。」

- (1) 引火点が-40℃以下
- (2) 引火点が-40℃以下で沸点が 40℃以下
- (3) 引火点が-20℃以下
- (4) 引火点が-20℃以下で沸点が 40℃以下
- (5) 沸点が 40℃以下

問 2 法令上、予防規程について、以下のうち誤っているものはどれか。

- (1) 予防規程は、火災の発生を予防することを目的として作成し、市町村長等の認可を受けなければならない。
- (2) 予防規程は、危険物取扱者が作成する。
- (3) 予防規程を作成する必要がある製造所等において、予防規程を作成せずに貯蔵、または取り扱いをした場合、罰則を受けることがある。
- (4) 予防規程について、火災の予防上必要と判断された場合、市町村長等から予防規程の変更を命じられることがある。
- (5) 製造所等の所有者および従業員は、予防規程を守らなければならない。

問 3 法令上、危険物の指定数量について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 特殊引火物の指定数量は、50L である。
- (2) 第 1 石油類の水溶性危険物、アルコール類の指定数量は 400L である。
- (3) 第 2 石油類の水溶性危険物、第 3 石油類の非水溶性危険物の指定数量は 2000L である。
- (4) 第 3 石油類の水溶性危険物、第 4 石油類の指定数量は 5000L である。
- (5) 動植物油類の指定数量は 10000L である。

問 4 製造所等を設置する際、学校・病院等から一定の距離（保安距離）を保たなければならないものとして適切なものは以下のうちどれか。

- (1) 屋外貯蔵所
- (2) 販売取扱所
- (3) 移動タンク貯蔵所
- (4) 屋内タンク貯蔵所
- (5) 給油取扱所

問5 法令上、製造所等に設置する消火設備について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 屋外消火栓設備……第1種消火設備
- (2) 二酸化炭素消火設備……第2種消火設備
- (3) 粉末消火設備……第3種消火設備
- (4) 泡を放射する大型消火器……第4種消火設備
- (5) 強化液を放射する小型消火器……第5種消火設備

問6 法令上、ガソリンを取り扱う給油取扱所の標識・掲示板について、以下のうち誤っているものはどれか。

- (1) 給油取扱所である旨の標識
- (2) 危険物の類、品名、最大取扱数量、指定数量の倍数および保安監督者の氏名の掲示板
- (3) 「火気注意」の掲示板
- (4) 「給油中エンジン停止」の掲示板
- (5) 掲示板の大きさは、幅 0.3 m以上、長さ 0.6 m以上でなければならない。

問7 法令上、製造所等の仮使用の説明として、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 市町村長等の承認を受ける前に、取り扱う危険物の品名・数量または指定数量の倍数を変更し、仮に使用することである。
- (2) 製造所等を変更する場合、変更工事に係わる部分以外の全部または一部において、市町村長等の承認を受けて、仮に使用することがである。
- (3) 製造所等を変更する場合、変更工事に係わる部分以外の部分の一部において、指定数量以上の危険物を 10 日以内の期間、仮に使用することである。
- (4) 製造所等を変更する場合、変更工事に係わる部分以外の一部においてのみ、市町村長等の承認を受けて、完成検査前に仮に使用することである。
- (5) 製造所等の譲渡または引き渡しがあった場合、市町村長等の承認を受けずに仮に使用することである。

問8 法令上、市町村長等から製造所等の修理、改造または移転を名ぜられるものは、次のうちどれか。

- (1) 公共の安全の維持若しくは災害の発生の防止のため、緊急の必要があると認められたとき。
- (2) 製造所等の位置、構造または設備を変更しないで、貯蔵し、または取り扱う危険物の数量を減少したとき。
- (3) 移動タンク貯蔵所による危険物の移送方法が、法令に定める技術上の基準に適合していないとき。
- (4) 製造所等の位置、構造または設備が、法令で定める技術上の基準に適合していないとき。
- (5) 製造所等における危険物の貯蔵および取り扱いの方法が、法令で定める技術上の基準に適合していないとき。

問 9 法令上、移動タンク貯蔵所の定期点検について、次のうち誤っているものはどれか。  
ただし、規則で定める漏れに関する点検は除く。

- (1) 定期点検は、位置、構造、または設備が技術上の基準に適合しているかどうかについて行う。
- (2) 定期点検は、1年に1回以上行わなければならない。
- (3) 定期点検を実施したときは、点検記録を作成し、これを3年間保存しなければならない。
- (4) 定期点検を実施しなければならない移動タンク貯蔵所は、移動貯蔵タンクの容量が10000L以上のものである。
- (5) 危険物取扱者の立ち会いを受けた場合、危険物取扱者以外の者が定期点検を行うことができる。

問 10 法令上、危険物取扱者に関する記述として、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 甲種危険物取扱者および乙種危険物取扱者は、6ヶ月以上の実務経験を有していなければ、危険物保安監督者にはなれない。
- (2) 甲種危険物取扱者は、全ての危険物を取り扱うことができる。
- (3) 丙種危険物取扱者は、危険物取扱者以外の者が危険物を取り扱うときに立ち会いができない。
- (4) 乙種危険物取扱者が取り扱える危険物の種類は、免状に記載がある危険物の種類に限られる。
- (5) 丙種危険物取扱者は、危険物施設保安員にはなれない。

問 11 法令上、免状の交付を受けた者が、当該免状を亡失し、滅失し、汚損し、または破損した場合の再交付の申請について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 当該免状の交付を受けた都道府県知事に申請する。
- (2) 当該免状の書き換えを受けた都道府県知事に申請する。
- (3) 居住地を管轄する都道府県知事に申請する。
- (4) 免状を亡失してその再交付を受けた者が、亡失した免状を発見した場合、これを10日以内に免状の再交付を受けた都道府県知事に提出しなければならない。
- (5) 汚損した場合は、再交付を申請する時に、その免状を添付しなければならない。

問 12 次の（ ）にあてはまる語句はどれか。

「製造所等において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者は、危険物の取扱作業の保安に関する講習を、原則として前回の受講日以後における最初の4月1日から（ ）以内に受けなければならない。」

- (1) 6年
- (2) 5年
- (3) 4年
- (4) 3年
- (5) 2年

問 13 製造所等における危険物施設保安員の業務でないものは次のうちどれか。

- (1) 製造所等の構造および設備を技術上の基準に適合するように維持するため、定期および臨時の点検を行うこと。
- (2) 製造所等の計測装置、制御装置、安全装置等の機能を適正に保持するよう保安管理を行うこと。
- (3) 製造所等の構造および設備に異常を発見した場合、危険物保安監督者に連絡し、必要に応じて直ちに適切な処置を講ずること。
- (4) 危険物取扱者を置く製造所等にあつては、危険物取扱者に必要な指示を与えること。
- (5) 危険物施設維持のために定期点検、臨時点検を実施し、記録を保存すること。

問 14 危険物の運搬容器の積載方法について、誤っているものはどれか。

- (1) 定められた運搬容器にて積載する。
- (2) 密栓された運搬容器にて、注入口を横向きにして積載する。
- (3) 運搬容器の外部に、定められた表示する。
- (4) 危険物の転落、または危険物の運搬容器の落下、および転倒、もしくは破損のないように積載する。
- (5) 危険物の運搬容器を積み重ねる高さは 3 m 以内にする。

問 15 法令上、製造所等における危険物の貯蔵および取り扱いの技術上の共通の基準について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 屋外貯蔵タンク、屋内貯蔵タンク、または地下貯蔵タンクの元栓は、危険物を出し入れするとき以外は閉鎖しておかなければならない。
- (2) 法別表の類を異にする危険物は、原則として同一の貯蔵所（耐火の隔壁で完全に区分された室が 2 以上ある貯蔵所においては、同一の室）に貯蔵してはならない。
- (3) 危険物のくず、かす等が出た場合には、1 日に 1 回以上安全な場所で廃棄処分しなければならない。
- (4) 廃油等は、いかなる場合であっても、焼却による廃棄処分をしてはならない。
- (5) 屋外貯蔵タンク、屋内貯蔵タンク、地下貯蔵タンクまたは簡易貯蔵タンクの計量口は、計量するとき以外は閉鎖しておかなければならない。

## [2]基礎的な物理学及び化学

問 16 燃焼について誤っているものはどれか。

- (1) 酸化反応の全てが燃焼に該当するわけではない。
- (2) 可燃物は、どんな場合でも空気がなければ燃焼しない。
- (3) 空気は、酸素供給源である。
- (4) 可燃物が分解して多量の酸素が発生する場合、内部（自己）燃焼が起こりやすい。
- (5) 可燃物、酸素供給源および点火源を燃焼の三要素という。

問 17 次のA～Eの物質のうち、常温（20℃）、常圧で燃焼の形態が主に蒸発燃焼のものはいくつあるか。

A. 灯油      B. 木炭      C. 硫黄      D. 石炭      E. ジエチルエーテル

- (1) なし
- (2) 1つ
- (3) 2つ
- (4) 3つ
- (5) 4つ

問 18 次の文について、正しく言い表しているものはどれか。

「ある物質の発火点は、260℃である。」

- (1) 260℃に加熱すると、自ずから燃え出す。
- (2) 260℃に加熱した熱源があると、瞬時に燃え出す。
- (3) 260℃に加熱すると、火源があれば燃える。
- (4) 260℃以下の加熱では、火源があっても燃えない。
- (5) 260℃以上に加熱すると、燃焼範囲の可能性気体が生じる。

問 19 動植物油類の自然発火について、次の文の（ ）内のA～Cに当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

「動植物油類の自然発火は、油が空気中で（ A ）され、この反応によって発生した熱が蓄積されて発火点に達すると起こる。自然発火は一般的に、乾きやすい油のほうが（ B ）、この乾きやすさを油脂（ C ）に吸収するヨウ素のグラム数で表したものをヨウ素価という。」

| （A）   | （B）    | （C）  |
|-------|--------|------|
| （1）酸化 | 起こりにくく | 100g |
| （2）還元 | 起こりにくく | 100g |
| （3）酸化 | 起こりにくく | 10g  |
| （4）還元 | 起こりやすく | 10g  |
| （5）酸化 | 起こりやすく | 100g |

問 20 消火について、次のうち誤っているものはどれか。

- （1）泡消火剤にはいろいろな種類があるが、いずれも窒息効果と冷却効果である。
- （2）消火は、燃焼の三要素のうち、一要素を取り去ればよい。
- （3）一般に、空気中の酸素が一定濃度以下になれば、燃焼は停止する。
- （4）除去消火は、酸素と点火源を同時に取り去って消火する方法である。
- （5）粉末消火剤は、負触媒作用により燃焼を抑制する効果がある。

問 21 静電気に関する説明として、次のうち誤っているものはどれか。

- （1）静電気が蓄積すると放電火花が生じることがある。
- （2）静電気は、一般に物体の摩擦等によって発生する。
- （3）引火性液体に帯電すると、電気分解を起こす。
- （4）静電気の電荷間に働く力は、クーロン力である。
- （5）静電気は、湿度が低いと蓄積しやすい。

問 22 比熱の説明として、次のうち正しいものはどれか。

- （1）物質 1 g の温度を 1 K（ケルビン）だけ高めるのに必要な熱量である。
- （2）物質が水を含んだとき発生する熱量である。
- （3）物質 1 g が液体から気体に変化するのに必要な熱量である。
- （4）物質に 1 J（ジュール）の熱を加えたときの温度上昇の割合である。
- （5）物質を圧縮したとき発生する熱量である。

問 23 次のうち、化学変化のみを記述した組み合わせはどれか。

- (1) 気化、凝縮、凝固
- (2) 酸化、分解、中和
- (3) 分解、溶解、昇華
- (4) 潮解、風解、融解
- (5) 燃焼、気化、液化

問 24 有機化合物の一般的説明について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 成分元素は炭素以外に、酸素、窒素、硫黄、リン等である。
- (2) 共有結合で結びついた構造で、水に溶けないものが多い。
- (3) 一般に反応速度が遅く、またその反応機構は単純である。
- (4) 燃焼すると、二酸化炭素と水を発生する。
- (5) 炭素原子が多数結合したものには、鎖状構造の他にシクロヘキサンやベンゼンのような環状構造を持つものもある。

問 25 次の文章の ( ) 内の A～D に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

「塩酸は酸なので pH は 7 より ( A )、また水酸化ナトリウム水溶液は、塩基なので pH は 7 より ( B )。塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を反応させると塩化ナトリウムと水ができるが、この反応を ( C ) という。

同一モル濃度で同体積の塩酸と水酸化ナトリウム水溶液が反応して生成した塩化ナトリウム水溶液の pH は 7 なので、水溶液は ( D ) である。」

- | (A)     | (B) | (C) | (D)   |
|---------|-----|-----|-------|
| (1) 大きく | 小さい | 酸化  | 酸化    |
| (2) 小さく | 大きい | 還元  | アルカリ性 |
| (3) 大きく | 小さい | 中和  | 中和    |
| (4) 小さく | 大きい | 酸化  | 酸化    |
| (5) 小さく | 大きい | 中和  | 中性    |

### [3] 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法

問 26 第一類から第六類の危険物の性状として、誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 常温（20℃）において、気体、液体、及び固体のものがある。
- (2) 不燃性の液体及び固体において、酸素を分離して、燃焼を助けるものがある。
- (3) 水を加えると発熱し、可燃性ガスを生成するものがある。
- (4) 危険物には、単体、化合物、混合物の3種類がある。
- (5) 分子中に酸素を含んでおり、他からの供給がなくても燃焼するものがある。

問 27 第四類危険物の一般的性状について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) いずれも水に溶ける。
- (2) 常温（20℃）で火源があれば、すべて引火する。
- (3) 蒸気の有する燃焼範囲は、この下限度に達する液温が低いものほど引火の危険性が高い。
- (4) 蒸気は空気より軽く、空気中で拡散しやすい。
- (5) 火源がなければ、発火点以上の温度でも燃焼はしない。

問 28 第四類の危険物の貯蔵、取り扱いの方法で、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 危険物を屋外タンク貯蔵所にて保管する場合、過度の温度の上昇に備え、高い位置に散水装置を設置する。
- (2) 危険物を容器に詰め替えるときは、静電気の蓄積に注意する。
- (3) 可燃性蒸気の発生を防止するため、容器は密栓しておくこと。
- (4) 引火を防止するため、みだりに火気に近づけないこと。
- (5) 蒸気は空気より重いため、低所の排気口から排出する。

問 29 第四類の危険物において、危険物の性質上、水溶性液体用泡消火剤を使用しなければならないものがあるが、次の危険物のうちこれに該当するものはいくつあるか。

- A. 二硫化炭素      B. アセトン      C. アセトアルデヒド  
D. メタノール      E. クレオソート油

- (1) 1つ      (2) 2つ      (3) 3つ      (4) 4つ      (5) 5つ

問 30 油槽所から河川の水面に、非水溶性の引火性液体が流出している場合の処置について、適切でないものは次のうちどれか。

- (1) オイルフェンスを周囲に張り、引火性液体の拡大および流動を防ぎ、回収装置で回収する。
- (2) 引火性液体の流出について、付近や船舶等に知らせ、火気使用の禁止等を要請する。
- (3) 流出した引火性液体をオイルフェンスで河川中央部へ集め、監視しながら揮発分を蒸発させる。
- (4) 油吸着剤を投入し、吸着剤の回収作業を繰り返し行う。
- (5) 火災に備えて消火作業の準備をする。

問 31 自動車ガソリンの一般的性状について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 水より重い。
- (2) 引火点は低く、冬季の屋外でも引火の危険性は大きい。
- (3) 燃焼範囲は、ジエチルエーテルよりも広い。
- (4) 液体の比重は、一般に灯油、軽油より大きい。
- (5) 蒸気は、空気より軽い。

問 32 アセトンの性状として、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 無色透明の液体である。
- (2) 樹脂、油脂等をよく溶かす。
- (3) 特有の臭気を有する。
- (4) アルコールには溶けない。
- (5) 引火点は 0℃以下、発火点は 450℃以上である。

問 33 灯油の性状について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 自然発火しやすい。
- (2) 引火点は、40℃以上である。
- (3) 発火点は、100℃より低い。
- (4) 液温が常温(20℃)では、蒸気も発生しない。
- (5) 水によく溶ける。

問 34 動植物油類の性状について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 水に溶けにくい。
- (2) 燃焼しているとき注水すると危険が生じる。
- (3) 引火点は 300℃程度である。
- (4) 引火点以上に熱すると引火危険が生じる。
- (5) 乾性油をぼろ布等に染み込ませて積み重ねておくと、自然発火する危険がある。

問 35 特殊引火物の性状として、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 比重は 1 より大きいものもある。
- (2) 沸点が 40℃以下のものもある。
- (3) 引火点は 0℃よりも低い。
- (4) 発火点はすべて 100℃以上である。
- (5) アルコールに溶ける。

# 危険物取扱者模擬試験解答用紙

乙種第4類（免除なし）

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 受験地 |  | 氏 名 |  |
|-----|--|-----|--|

| 受 験 番 号 |   |   |   |   |   | 生 年 月 日 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|         | — |   |   |   |   | 西暦      |   |   |   |   | 年 |   |   | 月 |   |   | 日 |
|         |   | ① | ② | ③ | ④ |         | ① | ② | ③ | ④ |   | ① | ② |   | ① | ② |   |
|         |   | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |         | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |   | ⑤ | ⑥ |   | ⑤ | ⑥ |   |
|         |   | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |         | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |   | ⑨ | ⑩ |   | ⑨ | ⑩ |   |
|         |   | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ |         | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ |   | ⑬ | ⑭ |   | ⑬ | ⑭ |   |
|         |   | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |         | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ㉑ |   | ⑰ | ⑱ |   | ⑰ | ⑱ |   |
|         |   | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ |         | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ |   | ㉒ | ㉓ |   | ㉒ | ㉓ |   |
|         |   | ㉖ | ㉗ | ㉘ | ㉙ |         | ㉖ | ㉗ | ㉘ | ㉙ |   | ㉖ | ㉗ |   | ㉖ | ㉗ |   |
|         |   | ㉚ | ㉛ | ㉜ | ㉝ |         | ㉚ | ㉛ | ㉜ | ㉝ |   | ㉚ | ㉛ |   | ㉚ | ㉛ |   |
|         |   | ㉞ | ㉟ | ㊱ | ㊲ |         | ㉞ | ㉟ | ㊱ | ㊲ |   | ㉞ | ㉟ |   | ㉞ | ㉟ |   |

| [1] 危険物に関する法令 |   |   |   |   |   | [2] 基礎的な物理学<br>及び化学 |   |   |   |   | [3] 危険物の性質並びにそ<br>の火災予防及び消火の方法 |     |   |   |   |   |   |
|---------------|---|---|---|---|---|---------------------|---|---|---|---|--------------------------------|-----|---|---|---|---|---|
| 問1            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問16                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問26 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問2            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問17                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問27 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問3            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問18                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問28 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問4            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問19                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問29 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問5            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問20                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問30 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問6            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問21                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問31 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問7            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問22                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問32 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問8            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問23                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問33 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問9            | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問24                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問34 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問10           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問25                 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤                              | 問35 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問11           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |                     |   |   |   |   |                                |     |   |   |   |   |   |
| 問12           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |                     |   |   |   |   |                                |     |   |   |   |   |   |
| 問13           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |                     |   |   |   |   |                                |     |   |   |   |   |   |
| 問14           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |                     |   |   |   |   |                                |     |   |   |   |   |   |
| 問15           | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |                     |   |   |   |   |                                |     |   |   |   |   |   |

乙種第4類（免除なし）

# 危険物取扱者模擬試験b解答      乙種第4類（免除なし）

| [ 1 ] 危険物に関する法令 |   |   |   |   |   | [ 2 ] 基礎的な物理学<br>及び化学 |   |   |   |   |   | [ 3 ] 危険物の性質並びにそ<br>の火災予防及び消火の方法 |   |   |   |   |   |
|-----------------|---|---|---|---|---|-----------------------|---|---|---|---|---|----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 問 1             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問16                   | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ | 問26                              | ● | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 問 2             | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ | 問17                   | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問27                              | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |
| 問 3             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問18                   | ● | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問28                              | ① | ② | ③ | ④ | ● |
| 問 4             | ● | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問19                   | ① | ② | ③ | ④ | ● | 問29                              | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |
| 問 5             | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ | 問20                   | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問30                              | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |
| 問 6             | ① | ② | ● | ④ | ⑤ | 問21                   | ① | ② | ● | ④ | ⑤ | 問31                              | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ |
| 問 7             | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ | 問22                   | ● | ② | ③ | ④ | ⑤ | 問32                              | ① | ② | ③ | ● | ⑤ |
| 問 8             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問23                   | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ | 問33                              | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ |
| 問 9             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | 問24                   | ① | ② | ● | ④ | ⑤ | 問34                              | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |
| 問10             | ① | ② | ③ | ④ | ● | 問25                   | ① | ② | ③ | ④ | ● | 問35                              | ① | ② | ③ | ● | ⑤ |
| 問11             | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |                       |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |   |   |
| 問12             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ |                       |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |   |   |
| 問13             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ |                       |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |   |   |
| 問14             | ① | ● | ③ | ④ | ⑤ |                       |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |   |   |
| 問15             | ① | ② | ③ | ● | ⑤ |                       |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |   |   |